



小学校夏季トレセン



発行所
鹿児島県青少年赤十字
指導者協議会

事務局
日本赤十字社鹿児島県支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話(代表)099-252-0600

が正しい知識をもち、自ら考え、

防災教育の目的は、将来起こる自然災害に対して子どもたちが

この教材は、小学生用(1〜3年生用と4〜6年生用)、中学生・高校生用に内容が別れ、教師が授業ですぐ使えるように、●授業の展開の仕方●指導のポイント●必要時間数などが書かれています。ワークシートや写真、イラストが掲載され、東日本大震災時のDVDも付けてあります。映像にはジャーナリストの池上彰さんも出演し、分かりやすい解説もなされています。

「まもるいのち」を完成し、青少年赤十字加盟校に配布しました。この教材は、東日本大震災をはじめとする自然災害から尊い命を守るために、青少年赤十字として防災教育を充実させなければならないという考えのもとに作られたものです。



昨年、日本赤十字社は学校の「まもるいのち」を完成し、青少年赤十字加盟校に配布しました。この教材は、東日本大震災をはじめとする自然災害から尊い命を守るために、青少年赤十字として防災教育を充実させなければならないという考えのもとに作られたものです。

遊んでた。「愛ちゃんの方からこののを待った。彼女は泣きながら「あ、お母さんが何処



声を出している子が、気になった。

「愛ちゃん熱があるんじゃないの、保健室にいこう」と誘い、体温計を脇に、「何か心配な事あるの、お友達と仲良く遊んでた。」愛ちゃんの方からこののを待った。彼女は泣きながら「あ、お母さんが何処

判断し、危険から身を守る行動をとれるようにすることです。青少年赤十字の態度目標「気づき、考え、実行する」は、防災教育にも通じ、子どもたちが知識と行動力を身につけるためのプロセスでもあります。

この防災教育プログラムが各学校で活用され、災害から自分の身を守るとともに、一人でも多くの子どもたちが、災害で苦しむ人々に思いやりの行動がとれるようになることを願っています。

青少年赤十字

実践目標
健康・安全、奉仕、国際理解・親善

態度目標
気づき、考え、実行する

かへ行っちゃったの……わたしを置いて……」詳しく聞くと朝、お迎えのバスが次の停留所で何人かの園児を乗せている時、お母さんが、車でバスの横を通って行ってしまったとの事。

「お母さんはお買い物にいらつたのじゃないの、すぐかえつていらつしやるよ。」と、なだめ「熱はなかつたわ。」と他の子らにいつて、遊びの仲間に入れた。

昼、母親に電話、園に来て貰い、事を話し、お母さんの笑顔を愛ちゃんに見せ、一件落着。或る幼稚園の先生の「気づき、考え、実行した」一コマ。

私は思う。若し見逃していたら、幼児の不安が、親への不信感へと広がるのではなからうか。

青少年赤十字の態度目標は、人間が人間らしく生き、私に出来る僅かな行動でも、命を大切にし、いじめなどない、デユナンの言う「オール、アー、ブラザーズ」の世界に繋がると。

平成27年度青少年赤十字リーダー

青少年赤十字指導者講習会

8月11日(火)～12日(水)
霧島自然ふれあいセンター

園児のための子ども赤十字講習会

6月27日(土)
鹿児島県赤十字会館

離島(喜界島)一日トレセン

7月19日(日)
喜界町自然休養村管理センター

主任 鹿児島市立福平中学校 高崎 武士

二年ぶりの新しい風が吹きました。今回はスタッフ・参加者の皆様の協力もあり大変実りの多い充実した二日間にすることができました。

研修のまとめとして、二日目のワークショップに本講習会で学んだことを取り入れた、それぞれの園・学校でできることを活動計画案としてまとめることができました。

この会が青少年赤十字の指導者としての入り口であり、それぞれの先生方がこれから「気づき・考え・実行する」ことさらに青少年赤十字の輪が広がっていくのではないかと考えます。

一つでも多くの輪が広がっていきけるよう協力しサポートしていきたいと思います。



■主な内容
赤十字について、ワークショップ、情報交換、救急法、交流会、VSについて、野外活動

■参加校名(順不同)
あけぼの保育園、ほびあこども保育園、おそろ幼稚園、鹿児島幼稚園、牟礼岡小、清水小、福平小、瀬々中、伊敷中、石島中、加世田中

青少年赤十字指導者講習会



主任 認定子ども園 清瀬幼稚園 西山 かよ

今年の講習会では、非常炊出しやAEDの使用法・救急法等の実技を行いました。どれも「いざ」という時に自ら手を差し伸べ一人でも多くの命を助けられると参加者から喜ばれました。

講習では、災害をテーマにグループ討議やアレルギー児への対応・対処法を学びました。参加者からは、「気づき・考え・実行することの大切さを知ることができ、赤十字と保育との繋がりを発見することができた」との声があり、これも好評でした。

この講習会の成果を皆で共有し、教育・保育の場で積極的に実践していつてほしいものです。

■主な内容
非常炊出し実習、園における防災について、実技「子どもの手当り」

■参加校名(順不同)
太陽の子幼稚園、若葉幼稚園、びばあ保育園、勝日保育園、青山幼稚園、かもめ幼稚園、清瀬幼稚園、親愛こども園

園児のための子ども赤十字講習会

主任 青少年赤十字賛助会 中山 忠順

平成十九年の与論で始まった大島地区のトレセンは、二十七年は喜界町での開催となりました。

島内の全小、中、高校(二、一、一校)から二十三名の参加で一日だけのリーダーシップ・トレーニングセンターでしたが、たいへん実り多い研修ができました。

各学校の児童・生徒の皆さんは、赤十字や青少年赤十字の話にしっかり耳を傾け、また実践活動においても個人の取り組み、グループでの活動等、真剣に一生懸命取り組んでいました。

未加盟校が多く、青少年赤十字の活動についての認識が少ない中、今回参加した児童・生徒の取り組みが、やはり機会が少ない離島でのトレセンの必要性を強く感じる開催でした。



■主な内容
アンリー・デュナンと青少年赤十字について、私たちにできる応急手当、グループワーク、研修「災害に備えよう」

■参加校名(順不同)
喜界小、早町小、喜界中、喜界高

離島(喜界島)一日トレセン

小さな取り組みの継続を

シップ・トレーニング・センター等

小学校トレセン

8月4日(火)～6日(木)
霧島自然ふれあいセンター

中学校トレセン

8月6日(木)～8日(土)
霧島自然ふれあいセンター

高等学校トレセン

8月4日(火)～6日(木)
霧島自然ふれあいセンター



■主な内容
赤十字と青少年赤十字について、情報交換、健康安全プログラム、VSについて、野外活動

■参加校名(順不同)
牟礼岡、坂元台、坂元、花野、福平、前之浜、阿久根、尾崎、小浜、西原、清水

学びを生かせるリーダーに

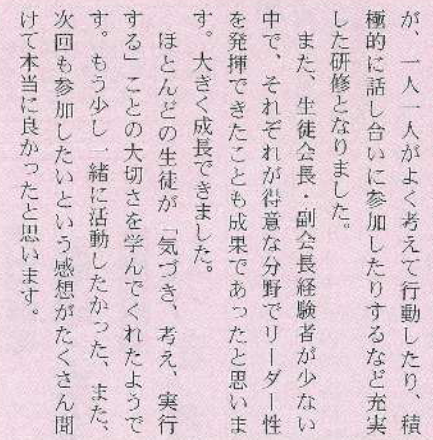
主任 鹿児島市立福平小学校 徳永 貴子

今年度は、子どもたちに防災の意識を少しでも身につけさせたいという思いから「災害への備え方を学び、これからの生活にいかしていこう」というテーマのもと、夏季小学校トレセンを実施しました。

新しい試みとして、火おこし体験や非常食作りも行いました。各学校から集まった子どもたちが「ぼうが袋を持つから、輪ゴムを巻いて、「一緒にやろうか」と体験活動を通して、いろいろなことに気づき、考え、実行していました。また、各ホームで協力する姿も多く見られました。

今後、子どもたちが学んだことを生かせるよう願っています。

小学校トレセン



■主な内容
赤十字と青少年赤十字について、情報交換、健康安全プログラム、野外活動、ワークショップ、VSについて

■参加校名(順不同)
清水、甲東、伊敷、福平、南指宿、加世田、水引、細山田、申良、吉野

トレセンを終えて

主任 鹿児島市立吉野中学校 久保 孝明

今年度は、参加者数は多くなかったですが、一人一人がよく考えて行動したり、積極的に話し合いに参加したりするなど充実した研修となりました。

また、生徒会長・副会長経験者が少ない中で、それぞれが得意な分野でリーダー性を発揮できたことも成果であったと思います。大きく成長できました。

ほとんどの生徒が「気づき、考え、実行する」ことの大切さを学んでくれたようです。もう少し一緒に活動したかった、また、次回も参加したいという感想がたくさん聞けて本当に良かったと思います。

中学校トレセン



■主な内容
青少年赤十字について、情報交換、健康安全プログラム、防災について、野外活動、ワークショップ

■参加校名(順不同)
薩南工業、鹿児島女子、鹿児島情報、鹿児島水産

主任 鹿児島情報高等学校 大庭 洋行

学校教育の今のキーワードはアクティブラーニングである。教える教育から、学習者が課題に気づき、学習者が主体となり学び合うことである。これは青少年赤十字トレセンの中で、当初からずっと色あせることなく引き継がれ、多くの指導者により工夫が積み重ねられてきた手法と一致する。今年も初めて出会う子どもたちが、真剣に自分たちの生き方、考えを出し合う姿に頼もしさを持ったのは、今回のトレセン指導者全員の見聞である。

「学ぶ」とは知識を得ることだけでなく、態度や考え方、知恵を学ぶことである。トレセンに参加した生徒たちが、学校現場でもそのリーダーシップを発揮してもらいたい。

高等学校トレセン

NHK海外たすけあい募金活動

1 2 月 1 日 (火) から 2 5 日 (金) まで「NHK海外たすけあい」キャンペーンが実施されました。

「NHK海外たすけあい」は、世界各地で起こる災害や紛争、飢餓や病気などで苦しんでいる人々を救うために、NHKと日本赤十字社が共同で実施しているものです。

日赤鹿児島県支部は県内 7 会場（鹿児島市（3 会場）、南さつま市、薩摩川内市、霧島市、鹿屋市）で街頭キャンペーンを実施しました。

青少年赤十字加盟校の小・中・高校生は赤十字地域奉仕団や賛助奉仕団などと街頭募金の呼びかけを行いました。

総勢 1 7 0 名で街頭に立った今年の募金額は合計で 3 7 5 , 0 9 1 円でした。



一日リーダーシップ・トレーニング・センター

小学校

期 日：平成 2 8 年 2 月 6 日 (土)

内 容：非常食の実習、「災害に備え、できることは」、赤十字と青少年赤十字 等

参加校：前之浜、紫原、入来、花野、与路、
(順不同) 星峯西、垂水、阿久根、坂元、伊敷、福平



中学校

期 日：平成 2 8 年 1 月 1 6 日 (土)

内 容：非常食の実習、青少年赤十字と生徒会活動、私たちの生徒会（ボランティア）活動、ワークショップ 等

参加校：加世田、武、南指宿、米ノ津、青戸、伊敷、桜島、吉田南、細山田、金峰、喜入、南、出水、鹿屋東、吉野、福平、水引



高等学校

期 日：平成 2 8 年 2 月 1 4 日 (日)

内 容：非常食の実習、春季総会 創作活動 等

参加校：鹿児島女子、薩南工業、鹿児島、
(順不同) 鹿児島情報



加盟校(園)数(3月1日現在)

幼稚園 38 園、保育園 22 園
小学校 282 校、中学校 119 校
高等学校 21、校特別支援学校 2 校
合計 484 校(園)

★平成 27 年度新規加盟校(園)★

池田小(指宿市)、帖佐小、万膳小、福平小、中名小、大田小、宮内小、上小原小、入来小、和泊小、花岡小、細山田小、小野小、羽月西小、大黒小、鹿屋小	(16校)
牧園中、高隈中	(2校)
国分中央高	(1校)

計 19 校

鹿児島県支部

「第 4 回 100 文字作文」コンクール

日本赤十字社鹿児島県支部と青少年赤十字指導者協議会では「人道・博愛」の精神の普及及び青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」の啓発に資するため、「100文字作文コンクール」を実施しました。県内の74校の小・中・高校生から8,292点の応募がありました。

2月11日の審査会で各賞の審査を行い、優秀な作品を決定しました。なお、今後は優秀な作品を作品集として作成し、各加盟校にお届けします。

今回は支部長賞のみを紹介します。

支部長賞

鹿児島市立南小学校	1年	山田 こうしろう
鹿児島市立鴨池小学校	4年	喜山 華帆
霧島市立向花学校	6年	富田 青那
鹿児島市立伊敷中学校	1年	小田原 千裕
鹿児島実業高等学校	2年	園田 祐太郎

